

シラバス

授 業 科 目	社会・集団と健康		
(英 文 名)	Public Health and Epidemiology		
担 当 教 員	赤崎健司、道原明宏		
単 位 数 (期別)	△2(前)	対 象 学 生	4P

■授業のねらい・概要■

個人の疾病の治療を目的とする臨床薬学対して、人間の集団である社会を対象として、疾病の予防と健康の増進を目的とする公衆衛生学を理解するための保健統計、疾病発生状況、疫学および集団発生する感染症について習得する。さらに、薬剤師がどのようにして公衆衛生に寄与するかを考察する。本科目は「疾病の予防」と合わせて習得することが必要である。【C11(2)(3)】

■授業(学習)の到達目標■

- 1 集団の健康と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義を概説できる。
- 2 人口静態と人口動態について説明できる。国勢調査の目的と意義を説明できる。
- 3 死亡に関する様々な指標の定義と意義および死因別死亡率の変遷について説明できる
- 4 人口の将来予測に必要な指標を列挙し、その意義について説明できる。日本における人口の推移と将来予測について説明できる。
- 5 高齢化と人口の少子化によりもたらされる問題点を列挙し、討議する。
- 6 疾病予防における疫学の役割を説明できる。
- 7 疫学の三要因および疫学の種類とその方法が説明できる。
- 8 分析疫学の概要を説明し、疫学データが計算でき、正確に解釈できる。
- 9 患者・対照研究の方法の概要を説明し、オッズ比を計算できる。
- 10 医薬品の作用・副作用の調査における疫学的手法の有用性を概説できる。
- 11 現代における感染症の特徴について説明できる。
- 12 感染症予防法により分類される主要な感染症を列挙し、分類の根拠を説明できる。
- 13 母子感染する疾病、性行為感染症を挙げ、その予防対策について説明できる。
- 14 定期予防接種の種類を挙げ、接種時期、接種方法を説明できる。

■回数ごとの授業内容■

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1 保健統計(1) 保健統計の意義(赤崎) | 10 疫学(4) 疫学と薬学(赤崎) |
| 2 保健統計(2) 統計の種類(赤崎) | 11 感染症の現状とその予防(1)
感染症の特徴(道原) |
| 3 保健統計(3) 人口の将来予測(赤崎) | 12 感染症の現状とその予防(2)
感染症の分類(道原) |
| 4 健康と疾病をめぐる日本の現状(1)
死因別死亡率(赤崎) | 13 感染症の現状とその予防(3)
母子感染症と性行為感染症(道原) |
| 5 健康と疾病をめぐる日本の現状(2)
人口の高齢化(赤崎) | 14 感染症の現状とその予防(4)
予防接種(道原) |
| 6 疫学(1) 疫学の三要因(赤崎) | 15 定期試験(道原・赤崎) |
| 7 疫学(2) 記述疫学(赤崎) | |
| 8 臨時(中間)試験(赤崎) | |
| 9 疫学(3) 分析疫学(赤崎) | |

■成績評価の方法・基準■

出席、レポートおよび二回の試験により評価する。

シラバス

■使用テキスト■

(1) 最新衛生薬学 (渡部 烈、菊川清見 編) 廣川書店 ISBN4-567-47152-0
本書は2年次に購入済み

(2) 薬系免疫学 (植田 正、前仲勝美 編) 南江堂 ISBN978-4-524-40246-5
本書は3年次に購入済み

■参 考 書■

なし

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	月曜日～金曜日：13時から18時 土曜日：10時から12時
----------------------------	----------------------------------